

第9回日本生殖医療心理カウンセリング学会

2012.02.19 福岡

【演題名】 不妊治療施設における心理カウンセリングの実際と役割—不妊とは直結しない主訴への援助の有効性—

【氏名】 荻野 友貴子¹⁾

【共同演者】 福田 愛作¹⁾、森本 義晴²⁾

【所属】 ¹⁾IVF大阪クリニック ²⁾IVFなんばクリニック

【発表要旨】

不妊治療施設での診療場面においては通常不妊に関する相談が扱われるが、心理カウンセリングにおいては必ずしも不妊や妊娠についての内容に限らない、実に多様な悩み、葛藤、問題についての相談が扱われる。不妊とは直接には無関係に患者が持ちあわせている不安定さを、心理カウンセリングを通して支えることにより、患者はその対処能力を増し、不妊治療にもより安定した状態で行き渡ると考えられる。一方、不妊治療施設では不妊に直接関連が無いことは扱われないといった認識が、心理カウンセリングの一層の活用を妨げている可能性が懸念される。不妊以外の訴えを含めた援助が行われる中で、患者自身の安定性が向上し、生活および不妊治療に関する側面において適応的な変容が報告された複数の症例を紹介し、不妊治療施設における心理カウンセリングの役割を論じたい。